

# ■全コースタイトルリスト

( a:収録時間55分以上 )  
 ( b:収録時間55分未満 )

講座名	No.	講義名	時間(分)	講師名	教材	
					テキスト	教科書
<b>I.鉄鋳物コース</b>						
【第1部】 鋳鉄の生産技術 (ねずみ鋳鉄)	①	ねずみ鋳鉄の材質特性と用途(含 合金鋳鉄)	107 a	近畿大学 教授 木口昭二	○	鋳鉄の生産技術 (587頁 ¥5,100)
	②	キュボラ溶解の実際	99 a	川口鋳物工業協同組合 山中 昇		
	③	各種鋳鉄溶解法の最近の動向	116 a	近畿大学 教授 炭本治喜		
	④	ねずみ鋳鉄の不良と防止対策	105 a	日本鋳造工学会 伊豆井省三		
	⑤	品質保証とねずみ鋳鉄の炉前試験(溶解)	61 a	川口鋳物工業協同組合 山中 昇、他		
	⑥	品質保証とねずみ鋳鉄の炉前試験(材料試験、顕微鏡組織、CEメーター)	83 a			
	⑦	鋳鉄溶解の考え方	116 a			
【第2部】 鋳鉄の生産技術 (球状黒鉛鋳鉄)	①	球状黒鉛鋳鉄、CV黒鉛鋳鉄及び合金鋳鉄の材質特性と用途	113 a	岩手大学 教授 堀江 皓	○	鋳鉄の生産技術 (587頁 ¥5,100)
	②	溶解及び溶湯処理法	102 a	自動車鋳物 宇塚恭治		
	③	鋳鉄の熱処理(含 可鍛鋳鉄)	80 a	日下レアメタル研究所 千田昭夫		
	④	-1 品質管理の進め方	54 a	日産自動車 小笠原宏明		
		-2 球状黒鉛鋳鉄の不良とその対策	55 a	日立金属 岩永 徹		
	⑤	球状、CV黒鉛鋳鉄の溶解と溶湯処理実習(1)	75 a	日本鋳造工学会 野口昌彦、他		
	⑥	球状、CV黒鉛鋳鉄の溶解と溶湯処理実習(2)	61 a			
⑦	球状黒鉛、CV黒鉛鋳鉄の組織観察、音速測定、発光分光分析	89 a				
【第3部】 鋳鉄の生産技術 (鋳造方案)	①	方案の基礎(湯口方案)	118 a	松田技術士事務所 松田政夫	○	鋳鉄の生産技術 (587頁 ¥5,100)
	②	方案の基礎(押湯方案)	118 a			
	③	ねずみ鋳鉄の大物鋳造方案	87 a	山本 北辻彦嗣		
	④	球状黒鉛鋳鉄の大物鋳造方案	114 a	近畿大学 教授 木口昭二		
	⑤	球状黒鉛鋳鉄の中、小物鋳造方案	110 a	張技術事務所 張 博		
	⑥	特殊鋳造方案	75 a	内外リアブル 木村 徹		
	⑦	コンピュータを使用した鋳造方案	108 a	コマツ 加納慎也		
【第4部】 鋳型の生産技術	①	生型造型法概論	115 a	元 中部科学技術センター 太田英明	○	鋳型の生産技術 (471頁 ¥5,000)
	②	生型砂の処理システムと管理	90 a	三菱自動車テクノメタル 本田 勉		
	③	鋳物砂の試験方法及その実習	46 b	ホーجون 峯田俊明、他		
	④	自硬性鋳型	103 a	神戸理化学工業 横井満雄		
	⑤	特殊鋳型(中子)概論	51 b	自動車鋳物 鈴木伸二		
	⑥	作業環境及び廃棄物処理	87 a	新東工業 増野 修		
【第5部】 鋳鋼の生産技術	①	炭素鋼鋳鋼の材質特性	107 a	日本製鋼所 津村 治	○	鋳鋼の生産技術 (661頁 ¥5,000)
	②	炭素鋼鋳鋼の溶解、精錬技術と炭素鋼鋳鋼品の後工程と品質管理	115 a			
	③	耐食鋼鋳鋼の材質特性、製造技術及び製品用途	78 a	日立協和エンジニアリング 川上正夫		
	④	耐熱鋼鋳鋼の材質特性、製品用途及び製造技術	100 a	日本鋳造 半田卓雄		
	⑤	耐摩耗鋼鋳鋼の材質特性及び製造技術	120 a	川崎重工業 田村 朗		
	⑥	鋳造方案の基礎と鋳型概論	113 a	神戸製鋼所 久保靖義		
	⑦	鋳鋼の鋳造方案演習(1)	114 a	元 素材材センター 大島敏和		
	⑧	鋳鋼の鋳造方案演習(2)	63 a			
	⑨	鋳鋼品の鋳造方案作成工程における重要検討事項及び欠陥対策	108 a			
【第6部】 精密鋳造の生産技術	①	各種精密鋳造法の特徴と展望	111 a	元 リケン 井上 浩	○	
	②	ラビッドプロトタイプ模型の精密鋳造への適用及び実演	104 a	新東工業 今村正人、他		
	③	ロストワックス法の製造実例	105 a	小林鋳造技術研究所 小林良一		
	④	精密鋳造法の実習及び討論	114 a	元 石川島播磨重工業 松野一弘、他		
【第7部】 鋳鉄の品質管理	①	-1 新しい品質管理 -2 統計的手法の活用	91 a	小林技術士事務所 小林良紀	○	
	②	鋳造品への非破壊検査技術の適用	72 a	川崎重工業 水野 充		
	③	-1 鋳造欠陥への対策	45 a	自動車鋳物 佐藤和則		
		-2 鋳造欠陥への対策、造型技術	64 a	ツチコン産業 黒川 豊		
	④	鋳造欠陥への対策、溶解技術	105 a	木村鋳造所 菅野利猛		
【第8部】 鋳鉄の複合化と 先端技術	①	新しい材料開発と今後の動向	97 a	岩手大学 教授 堀江 皓	○	
	②	鋳造材料を利用した表面改質の事例及び解説	102 a	豊田工業大学 教授 恒川好樹		
	③	鋳造技術を利用した複合化技術の事例紹介及び解説	104 a	東北大学 助教授 大出 卓		
	④	鋳造材料を利用した表面改質の実習	43 b	アイシン高丘 出津新也、他		

講座名	No.	講義名	時間(分)	講師名	教材	
					テキスト	教科書

## II. 非鉄鋳物コース

【第1部】 軽合金鋳物の 生産技術	①	合金の特性	120 a	東京工業大学	手塚裕康	軽合金鋳物・ダイカ ストの生産技術 (670頁 ¥5,250)
	②	顕微鏡による組織判定実習	76 a			
	③	溶解及び溶湯処理(1)	89 a	タイコウ	仁科皓一郎	
	④	溶解及び溶湯処理(2)	107 a	タイコウ	仁科皓一郎、他	
	⑤	アルミ合金鋳物及びマグネ合金鋳物の鋳造法と品質改善(1)	80 a			
	⑥	アルミ合金鋳物及びマグネ合金鋳物の鋳造法と品質改善(2)	96 a	神戸製鋼所	小池 進	
【第2部】 ダイカストの 生産技術	①	ダイカストの生産技術の現状と展望	95 a	日本ダイカスト協会	西 直美	軽合金鋳物・ダイカ ストの生産技術 (670頁 ¥5,250)
	②	ダイカストの鋳造理論及び不良対策	99 a	東京理化学工業所	板村正行	
	③	ダイカスト合金の特性と顕微鏡組織観察の実習(1)	109 a	日本軽金属	北岡山治、他	
	④	ダイカスト合金の特性と顕微鏡組織観察の実習(2)	86 a			
	⑤	マグネシウム合金ダイカスト(1)	93 a			
	⑥	マグネシウム合金ダイカスト(2)	77 a	日本マグネシウム協会	藤井恒弥	
	⑦	討論会(鋳造欠陥とその対応策)	86 a	日本軽金属	北岡山治、他	
【第3部】 銅合金鋳物の 生産技術	①	銅合金鋳物の特性と用途	102 a	芝浦工業大学 教授	村田 清	銅合金鋳物の 生産技術 (585頁 ¥5,000)
	②	顕微鏡組織判定の実習	40 b	芝浦工業大学 教授	村田 清、他	
	③	銅合金の溶解	118 a	中越合金鋳工	矢後 亘	
	④	炉前試験の実習	61 a	加藤組	高田孝保、他	
	⑤	鋳造方案と不良対策	72 a	市川技術事務所	市川忠一	
	⑥	最近の各種砂型鋳造法の特性比較	100 a	芝浦合金	相澤光彦	
【第4部】 軽合金鋳物・ ダイカストの品質管理	①	-1 新しい品質管理 -2 統計的手法の活用	114 a	小林技術士事務所	小林良紀	○
	②	造型における鋳造欠陥対策	70 a	神戸製鋼所	中田 守	○
	③	-1 鋳造品への非破壊検査技術の適用 -2 溶解における鋳造欠陥対策(1)	60 a 52	神戸製鋼所 日本軽金属	露谷智之 倉増幸雄	○ ○
	④	溶解における鋳造欠陥対策(2)	117 a	日本軽金属	倉増幸雄	○
【第5部】 軽合金鋳物の 複合化と先端技術	①	最近の高圧鋳造技術	118 a	ノースイースタン大学	西田義則	軽合金鋳物・ダイカ ストの生産技術 (670頁 ¥5,250)
	②	スライズ鋳造法の実習及び討論	86 a	ノースイースタン大学	西田義則、他	
	③	鋳造鍛造	117 a	日本軽金属	北岡山治	
	④	半溶融・半凝固成形技術	104 a	神鋼リサーチ	吉田千里	

## III. 鋳造基礎・初心者コース

【第1部】 鋳鉄の材質及び基礎技術	①	-1 鋳鉄の組織と材質評価 -2 ねずみ鋳鉄の材質と用途	57 a 59	近畿大学 教授 大阪産業大学 教授	米田博幸 松本弘司	○ ○
	②	球状・CV黒鉛鋳鉄の材質と用途	43 b	近畿大学 教授	米田博幸	○
【第2部】 鋳鉄溶解の基礎	①	-1 鋳鉄溶解の基本・誘導炉溶解とキュボラ溶解 -2 誘導炉溶解の実際	62 a 49	近畿大学 教授 シンワエンタープライズ	炭本治喜 佐々木 裕	○ ○
	②	キュボラ溶解の実際	62 a	ナニワ炉機研究所	村田博敏	○
【第3部】 鋳造方案の考え方と 欠陥対策及び仕上げ	①	-1 鋳仕上げの現状と動向 -2 鋳造方案の考え方・凝固解析を含む	36 a 62	大銃産業 大阪大学 助教授	芝 重和 山内 勇	○ ○
	②	鋳造欠陥とその防止対策	49 b	クボタ教育センター	和気 慎	○
【第4部】 造型技術の基礎	①	-1 生型造型法・鋳物砂の特性と管理 -2 自硬型鋳型(無機系と有機系)と鋳型材料	55 a 52	クボタ 山川産業	辻 聡 易 宏治	○ ○
	②	消失模型鋳造法	59 a	関西大学 教授	小林 武	○
【第5部】 情報の基礎、品質管理 及び規格の基礎	①	生産情報システムの基礎と応用	71 a	甲南大学 教授	長坂悦敬	○
	②	-1 品質管理入門・ISO9000'sの紹介を含む -2 生産技術者に必要なJIS規格	54 a 39	元 栗本鐵工所 大阪府立大学 助教授	鈴木拓司 辻川正人	○ ○

## IV. 鍛造コース

(鍛造コース)	①	鍛造温度と変形並びにファイバフローの相違	82 a	元 新日本製鐵	吉田忠継	○
	②	実験解析によるメタルフローの比較実習	66 a	元 新日本製鐵	吉田忠継、他	○
	③	鍛造の特徴	87 a	産業技術総合研究所	篠崎吉太郎	○
	④	コンピュータによる鍛造シミュレーション実習	68 a	日立造船情報システム	成田 忍、他	○

## V. 金型コース

【第1部】 ダイカスト用金型技術	①	ダイカスト用金型技術の展望と新技術動向	54 b	ぐんま産業高度化センター	斎藤勝政	ダイカスト金型 (510頁 ¥5,250)
	②	金型材料、熱処理、表面処理	62 a	リョービ	有須田康弘	
	③	鋳造シミュレーションの基礎	97 a	日立製作所	高橋 勇	
	④	金型設計 CAD/CAM/CAT	104 a	日産自動車	安達 篤	
	⑤	-1 金型加工 -2 機械加工	61 a 50	シンコー精機 牧野フライス製作所	新名俊一 小林義高	
	⑥	金型設計	106 a	リョービ	稲葉定夫	
【第2部】 鍛造用金型技術	①	冷間鍛造品の工程設計と金型設計	115 a	元 冷間鍛造	澤辺 弘	鍛造金型 (376頁 ¥5,250)
	②	金型材料、製作、熱処理、表面処理	48 b			
	③	金型設計・製作評価の実際とコンピュータ活用	115 a	ヤマナカコーキン	角南不二夫	
	④	熱間鍛造品の工程設計と金型設計	85 a	メタルアート	長谷川平一	
	⑤	鍛造の世界と特徴及び新しい鍛造技術	92 a	産業技術総合研究所	篠崎吉太郎	
	⑥	金型損傷の原因と対策	97 a	日産自動車	濱崎敬一	
【第3部】 射出成形用金型技術	①	-1 高機能金型と金型保全システム、光造形技術の利用 -2 金型用材料	47 a	ぐんま産業高度化センター 大同特殊鋼	斎藤勝政 並木邦夫	プラスチックの 射出成形用金型 (715頁 ¥5,250)
	②	切削加工	100 a	牧野フライス製作所	小林義高	
	③	仕上げ加工	54 b	日本工業大学 教授	佐々木哲夫	
	④	金型の可視化技術と成形現象の解析	118 a	東京大学 教授	横井秀俊	
	⑤	CAEとシミュレーション	75 a	松下電器産業	有吉秀樹	
	⑥	三次元計測とデータ処理技術	74 a	慶應義塾大学 助教授	青山英樹	

## VI. コンピュータコース

(コンピュータコース)	①	鋳造品の凝固解析と湯流れ解析の理論(AD-STEFAN版)	109 a	東北大学 教授	安斎浩一	○
	②	鋳造品の凝固解析と湯流れ解析の理論(JS-CAST版)	47 b	近畿大学 教授	木口昭二	○
	③	鋳造方案支援エキスパートシステムの理論	52 b	甲南大学 教授	長坂悦敬	○
	④	熱処理品質予測システムの理論	91 a	コマツ	七野勇人	○